地域で災害時要援護者を支援しよう！

災害時要援護者ってなに？

災害時要援護者とは、ひとり暮らしの高齢者や障害者など、災害時に手助けが必要な方々のことです。清須市では現在、約１，４００人の方々が登録されています。そのうち、〇〇ブロックでは、ＸＸ名の方が登録されています。

誰が助けるの？

災害時には、市役所や関係機関が協力して災害時要援護者を支援します。

しかし、いざというときに一番頼りになるのは、近くの住民の方々です。

そのため、〇〇自主防災会では、要援護者班をつくり、近隣の住民の方々（近隣支援者）で支援するよう進めていきます。

なにをすればいいの？

要援護者班の一員になってもらい、災害が起きたとき、自分に余裕があれば、安否を確認したり、災害情報を伝えたり、避難の必要があるときは手助けをします。

また、普段の日常生活の範囲内で見守りや声かけをお願いします。

※　あくまで善意の活動です。活動するか否かに責任は伴いません。

自主防災会の要援護者班の活動にご協力をお願いいたします。

問合せ

〇〇自主防災会　本部長　〇〇　〇〇

（災害時要援護者全般に関すること）

清須市役所 健康福祉部 社会福祉課

電話：052-400-2911　　e-mail：shakaifukushi@city.kiyosu.lg.jp

回覧										